

城西大学研究年報 既刊総目次

城西大学教養関係紀要 第1巻 (1977年3月)

| | |
|---|---------|
| 新大陸文化史の諸問題 —特にコロンブス期文化を中心として— | 貞 未 堯 司 |
| 首都圏の都市成長前線帯外縁部における商業地域の形成 —埼玉県越生町の1883年～1902年の変容をめぐって— | 田 村 正 夫 |
| Visuddimagga 源泉資料年代論 | 森 祖 道 |
| アンドレ・マルロー総合年譜(Ⅰ) | 堀 田 郷 弘 |
| 『ペリクリイーズ』の時の風光—一つの解釈— | 戸 所 宏 之 |
| 日本における初期の気象組織の形成 | 鯉 沼 寛 一 |
| 本学体力測定結果の一考察 | 横 内 靖 典 |
| バレーボールにおけるスパイクの研究 | 明 石 正 和 |
| 体力増進および維持に関する諸問題についての一考察 | 畠 山 栄 子 |
| 《基礎づけ》の序文 | 山 口 勲 |
| 父の終焉日記と観無量寿経の世界 | 黄 色 瑞 華 |

第2巻 (1978年3月)

| | |
|--|---------|
| ラテン=アメリカにおける考古学上の諸問題 | 貞 未 堯 司 |
| 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成 —飯能市の1880～1890年の変容をめぐって— | 田 村 正 夫 |
| 『サマンタパーサーディカー』の「阿闍梨相承」 | 森 祖 道 |
| アンドレ・マルロー総合年譜(Ⅱ) | 堀 田 郷 弘 |
| 言語論哲学の基礎を求めて —ヴィトゲンシュタイン研究(Ⅰ)— | 山 口 勲 |
| T. S. エリオットの本質(上) —詩人・批評家・劇作家— | 鮫 島 久 男 |
| 『ヴェロオナの二紳士』の黙示 —デュウリアの変装をめぐって— | 戸 所 宏 之 |
| 大腸菌における集団密度並びに遺伝子頻度の適応度に及ぼす影響 | 小須田 和 彦 |
| 足関節捻挫を防止する TAPING の役割 | 武 藤 幸 政 |
| バレーボール選手の体力に関する研究 —(第一報 全日本高校選抜男子選手の体力について)— | 明 石 正 和 |
| 身体運動としての一輪車乗用について —学習過程における練習効果について— | 畠 山 栄 子 |
| 本学の体力測定結果の一考察 | 永 都 久 典 |

『父の終焉日記』の人物構想（補遺）……………黄色瑞華

第3巻（1979年3月）

- アッタカターの源泉資料(上) —研究序説—……………森 祖 道
- 言語論哲学の基礎を求めて —ヴィトゲンシュタイン研究[II]—……………山 口 勲
- ペイターの「W. モリス論」のゆくえ……………萩 原 博 子
- 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成
 —飯能市における1880～1890年の店舗規模・納税額を中心に—……………田 村 正 夫
- 現代日本における青少年の疎外状況について……………松 浦 孝 作
- ショウジョウバエにおける同一遺伝子座支配のテイソザイムの生化学的研究
 —クロショウジョウバエアロザイムの生化学的差異とその生物学
 的意義—……………成 瀬 澄 子
 佐々木 美枝子
- バレーボール選手の体力に関する研究
 —第2報 城西大学男子選手の体力について—……………明 石 正 和
- 身体運動としての一輪車乗用について
 —第2報 練習効果と性格検査との関係について—……………畠 山 栄 子
- 体育学の位置づけについての研究
 —特に身体運動の科学的分析について—……………横 内 靖 典

第4巻（1980年3月）

- 言語論哲学の基礎を求めて —ヴィトゲンシュタイン研究(III)—……………山 口 勲
- 主都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成
 —飯能市における1880年代のサービス業・繊維品商を中心に—……………田 村 正 夫
- 大腸菌における頻度依存適応度……………小須田 和 彦
- 一輪車運動のバイオメカニクスの研究 —(1)基調動作の分析—……………明 石 正 和
 斉 藤 保 夫
 横 内 靖 典
 武 藤 幸 政
 畠 山 栄 子
 永 都 久 典
- サッカー ゴールキーパーの動作分析
 —PK 時におけるゴールキーパーの SAVING FORM について
 の基礎実験(1)—……………永 都 久 典
- アメリカにおける「スポーツ外傷の TREATMENT」について……………武 藤 幸 政

「門松立てず、煤はかず」考……………黄色瑞華

第5巻 (1981年3月)

| | | | |
|--|---|---|-----|
| アッタカターにおける Porānā …………… | 森 | 祖 | 道 |
| 『ヴェローナの二紳士』の素材と構造…………… | 小 | 野 | 昌 |
| T. S. エリオットの本質(中) —詩人・批評家・劇作家として— …………… | 鮫 | 島 | 久男 |
| THE DEVELOPMENT OF THE COGNITIVE CODE-LEARNING THEORY | | | |
| —Trends in Language Methodology in the United States—…………… | 田 | 村 | 文子 |
| 秋の映像 —キーツの『秋に寄せて』— (一)…………… | 永 | 井 | 豊実 |
| R. ニャナデンカン的一般化主成分分析について …………… | 新 | 井 | 宏尚 |
| 住居構造・形態と居住者のパーソナリティとの関係 | | | |
| —特に YG 検査, MAS などとの関連について—…………… | 駒 | 崎 | 勉 |
| クロショウジョウバエにおける生存力に及ぼす近交の効果…………… | 小 | 須 | 田和彦 |
| Drosophila virilis の酸ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的研究(1) | | | |
| —精製と性質—…………… | 成 | 瀬 | 澄子 |
| 膝関節の Injuries と Taping について…………… | 武 | 藤 | 幸政 |
| 本学学生の体力測定結果の一考察 —第3報—…………… | 横 | 内 | 靖典 |
| | 明 | 石 | 正和 |
| | 斉 | 藤 | 保夫 |
| | 島 | 山 | 栄子 |
| | 武 | 藤 | 幸政 |
| | 永 | 都 | 久典 |
| 『ひとり言』から「俳諧小言」へ…………… | 黄 | 色 | 瑞華 |

第6巻 (1982年3月)

| | | | |
|--|---|---|-----|
| A. Pope のテムズ川観…………… | 石 | 川 | 郁二 |
| The Study of “The Bastard” by Erskine Caldwell (I)…………… | 金 | 勝 | 久 |
| 『Ode to a Nightingale』一考察 —歌声に耳を澄ます時—…………… | 永 | 井 | 豊実 |
| T. S. エリオットの本質(下の1) —詩人・批評家・劇作家として—…………… | 鮫 | 島 | 久男 |
| FRÜHNEUHOCHDEUTSCH UND BUCHDRUCKERKUNST | | | |
| II. Die Antinomie ‚geschriecen↔gesprochen’…………… | 藤 | 井 | 明彦 |
| アンドレ・マルロー総合年譜(Ⅲ)…………… | 堀 | 田 | 郷弘 |
| Lecture de Gaston Bachelard et sa Conscience de Soi…………… | 越 | 坂 | 部則道 |

| | |
|--|--|
| キイロショウジョウバエの雄の交尾に関する遺伝的変異 | 小須田 和彦 |
| <i>Drosophila virilis</i> の酸性ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的 研究2 —アロザイム活性の系統内変異— | 成瀬 澄子 寺田 理枝 |
| 本学運動競技選手の最大酸素摂取量 | 明石 正和 永都 久典 横内 靖典 斉藤 保夫 |
| 一輪車走行時の作業強度の研究 | 永都 久典 横内 靖典 斉藤 保夫 明石 正和 武藤 幸政 畠山 栄子 |
| 本学学生の体力測定結果の一考察 —第4報— | 横内 靖典 明石 正和 斉藤 保夫 畠山 栄子 武藤 幸政 永都 久典 |
| アンドレ・ジッドの方法V —生命の美学『イザベル』をめぐって— | 陶山 曠 |

第7巻 (1983年3月)

| | |
|---|--|
| T. S. エリオットの本質 (VI) —詩人・批評家・劇作家として— | 鮫島 久男 |
| The Development of Community Language Learning, The Silent Way and Suggestopedia in Comparison with Other Methods —Trends in Language Methodology in the United States— | Fumiko Tamura |
| キーツとワーズワース —手紙におけるワーズワース— | 永井 豊実 |
| 本学学生の体力測定結果の一考察 —第5報— | 横内 靖典 明石 正和 斉藤 保夫 畠山 栄子 武藤 幸政 永都 久典 |
| 循環機能に関する研究 —一般学生の検査による実態 (第1報)— | 畠山 栄子 横内 靖典 |
| メラニコリアとアマツォーネ(1) | 河内 信弘 |

第8巻 (1984年3月)

| | |
|--|---------------|
| Aspects of the Acquisition of English —The Four Skills— | Fumiko Tamura |
| バレーボールのスパイク動作に関する研究..... | 明石正和 永都久典 |
| 高校生の各年代別各種スポーツ別筋力測定について —等速性筋緊張について—..... | 武藤幸政 |
| メラニコリアとアマツォーネ(Ⅱ)..... | 河内信弘 |

第9巻 (1985年3月)

| | |
|---|--|
| 〔研究ノート〕 世界史教科書にみる中世とルネサンスの記述について —暗黒の中世とルネサンスの春と—..... | 小野昌 |
| 漱石の『文学論』における科学の意味について..... | 立花太郎 |
| バレーボール選手の体力に関する研究 —女子ユニバーシアード候補選手の体力について—..... | 明石正和 |
| 地域社会における余暇志向についての一考察 —坂戸市について—..... | 永都久典 斉藤保夫 武藤幸政 横内靖典 明石正和 畠山栄子 |
| ストレッチングの筋電図学的研究..... | 武藤幸政 |

第10巻 (1986年3月)

| | |
|--|--------------|
| キイロシヨウジョウバエの雄の交尾能力に関する遺伝的変異 Ⅱ. 加齢効果..... | 小須田和彦 |
| リュウコ体の色素増感光酸化反応 Ⅰ. リュウコウラニンのメチレンブルーおよびローズベンガル増感剤による光酸化反応..... | 勝呂宏 堀合公威 |
| クロシヨウジョウバエグリセロールリン酸脱水素酵素アロザイムの遺伝生化学的研究 3. 生化学的比較..... | 富永浩子 成瀬澄子 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 本学学生の体力測定結果の一考察 ——第6報 | 武藤幸政 斎藤保夫 横内靖典 明石正和 畠山栄子 永都久典 |
| 運動選手の STRETCHING についての基礎的研究 | 永都久典 横内靖典 |
| 中高年におけるストレッチングの事例的研究 | 横内靖典 |

第11巻 (1987年3月)

| | |
|---|----------------------|
| リュウコ体の色素増感光酸化反応 | |
| Ⅱ. リュウコウラニンのスミアクリルブルー増感剤による 光増感光酸化反応 | 勝呂宏 堀合公威 |
| HPLC を用いたショウジョウバエの酸性ホスファターゼアロザイム 精製の改良法 | 富永浩子 成瀬澄子 |
| 中高年における健康運動の事例的研究 —第二報— (健康運動と体力の関連について) | 永都久典 横内靖典 佐藤幹夫 |
| 循環機能に関する研究 — (第2報) 一般学生の検査による実態 | 畠山栄子 |

第12巻 (1988年3月)

| | |
|--|------|
| 日本における大学生の生活行動と意識構造 —特に専攻系列別比較を中心として— | 駒崎勉 |
| ニーチェにおける高さへの志向 | 河内信弘 |
| 北信における一茶社中の形成 | 黄色瑞華 |

第13巻 (1989年3月)

| | |
|---------------------------------|-----------|
| Ariyavaṃsa and Ariyavaṃsa-kathā | Sodō Mori |
|---------------------------------|-----------|

〔翻訳〕

ローラント・フライモント著

グスタフ・フライタークに与えたチャールズ・ディケンズの影響(1)……………鈴木敏雄

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(1)……………黄色瑞華

第14巻 (1990年3月)

〔翻訳〕

ローラント・フライモント著

グスタフ・フライタークに与えたチャールズ・ディケンズの影響(2)……………鈴木敏夫

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(2)……………黄色瑞華

第15巻 (1991年3月)

日本における大学生の生活行動と意識構造

——特に地域差，大学種別差，性差を中心として——……………駒崎勉

漱石の小説における比喩表現の特色

——詩的技法との関連を通して——……………楊麗雅

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(3)……………黄色瑞華

第16巻 (1992年3月)

日本における伝統的蒸気浴・熱気浴の具体像 (後編)

——中国・四国地方以西の分布について——……………小口千明

〔資料〕

ペーター・ヘーベルレ著作一覧及び関連邦語文献……………畑尻剛

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(4)……………黄色瑞華

第17巻 (1993年3月)

ドイツ連邦憲法裁判所と人工妊娠中絶

——連邦憲法裁判所の二つの仮命令を素材として——……………畑尻剛

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(5)……………黄色瑞華